

65歳以上の方へ 介護予防のために生活機能評価を受けましょう

生活機能評価とは、加齢による機能の低下を早めを知るための検査です。総合判定で生活機能に低下がみられる方には、区の介護予防教室をご案内しています。

【対象】65歳以上の介護保険の第1号被保険者の方(介護保険で要介護・要支援の認定を受けている方を除く)

※65歳～74歳の方は、加入している医療保険等により、評価の実施方法が異なります(右図)。

【費用】無料

【問合せ】高齢者サービス課介護予防係(本庁舎2階) ☎(5273) 4594へ。



生活機能評価の受け方

～加入している医療保険等で実施方法が異なります～

75歳以上の方・区の国民健康保険に加入している方・生活保護を受けている方

健康保険組合・共済組合・全国健康保険協会管掌健康保険・国民健康保険組合等に加入している方と被扶養者の方

区の無料健康診査(年1回受診可、1面参照)と同時に「介護予防のための生活機能評価」を実施します。健康診査票と一緒に郵送される「介護予防のための基本チェックリスト」に記入し、健康診査を受けてください。

10か所の地域包括支援センター(左表)に「介護予防のための25項目の問診票(基本チェックリスト)」が備え付けてあります。チェック後、センター職員にお渡しください。

問診票の内容が一定の項目に該当した方には、高齢者サービス課から「介護予防のための生活機能検査票」をお送りします。区内の指定医療機関で検査を受けてください。

医師による総合判定等で介護予防の取り組みの対象となった方に、高齢者サービス課からご案内をお送りします。

●地域包括支援センターは区が設置した高齢者の方の総合相談窓口です

名称	所在地	電話番号
若葉地域包括支援センター	若葉3-6 若葉高齢者在宅サービスセンター内	(5367) 6770
北山伏地域包括支援センター	北山伏町2-12 特別養護老人ホームあかね苑新館内	(3266) 0753
原町ホーム地域包括支援センター	原町3-84 原町高齢者在宅サービスセンター内	(5367) 6737
若松町地域包括支援センター	若松町25-19	(5292) 0710
大久保地域包括支援センター	大久保2-2-18 プチモンド新宿101号	(5291) 6639
高田馬場地域包括支援センター	高田馬場1-29-20 安念ビル1階	(3203) 3143
聖母ホーム地域包括支援センター	中落合2-5-21 聖母ホーム内	(3953) 4080
上落合地域包括支援センター	上落合2-22-11 パインフィールドビル3階	(5348) 5566
淀橋地域包括支援センター	西新宿8-15-12 第二秋ビル1階	(5338) 9531
新宿区役所地域包括支援センター	歌舞伎町1-4-1 高齢者サービス課(本庁舎2階)	(5273) 4594

【日時】11月8日(土)午前11時～5時

【展示団体・内容】▼昆布から見える「環境」と「健康」(新宿区消費者団体連絡会)・環境と生命を守る有機農業と有機(有機農産物愛好グループ)・バイオエタノールは温暖化の救世主になるの? (友の会「婦人之友」愛読者)・▼本物の技術、EM菌活用で地球にも優しい社会を(自然農法の集い環境浄化を進める会)・▼食のカウント

●消費生活パネル展(同時開催)

【日時】11月8日(土)午前11時～5時

【内容】①基調講演「いのちと環境を脅かす食の現状」(小若順一・食品と暮らしの安全基金代表)・②パネルディスカッション、コーディネーター: 原剛(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授)、パネリスト: 小若順一、西沢江美子(農業ジャーナリスト)、鈴木二三子(農業者)、鍋島照子(区消費者団体連絡会会長)

【共催】新宿区消費生活展準備会

【日時】11月8日(土)午後1時～5時

【内容】①基調講演「いのちと環境を脅かす食の現状」(小若順一・食品と暮らしの安全基金代表)・②パネルディスカッション、コーディネーター: 原剛(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授)、パネリスト: 小若順一、西沢江美子(農業ジャーナリスト)、鈴木二三子(農業者)、鍋島照子(区消費者団体連絡会会長)

みんなの力できれいなまちに秋の地域ごみゼロ運動にご参加を

地域ごとに一斉清掃活動を実施します。「清潔で住みよいまち、新宿」を実現するため、ぜひご参加ください。

【日時】原則として11月中。地域や団体ごとの日程は、最寄りの特別出張所にお問い合わせください。

【申込み】参加する町会・学校・事業者・団体等の代表者の方は、参加票(特別出張所に備え付け。新宿区ホームページ)

【会場・申込み】当日直接、B1Z新宿(区立産業会館)(西新宿6-8-2)へ。シンポジウムは先着200名

【問合せ】新宿消費生活センター ☎(3365) 6100へ。

【日時】11月8日(土)午前11時～5時

【内容】①基調講演「いのちと環境を脅かす食の現状」(小若順一・食品と暮らしの安全基金代表)・②パネルディスカッション、コーディネーター: 原剛(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授)、パネリスト: 小若順一、西沢江美子(農業ジャーナリスト)、鈴木二三子(農業者)、鍋島照子(区消費者団体連絡会会長)

【日時】11月8日(土)午後1時～5時

【内容】①基調講演「いのちと環境を脅かす食の現状」(小若順一・食品と暮らしの安全基金代表)・②パネルディスカッション、コーディネーター: 原剛(早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授)、パネリスト: 小若順一、西沢江美子(農業ジャーナリスト)、鈴木二三子(農業者)、鍋島照子(区消費者団体連絡会会長)

【日時】11月25日(土)午前10時30分～午後1時30分

【対象】区内在住・在勤・在学の方

【持ち物】二重にした手提げビニール袋1組

【共催】エコライフ推進員ほか 込弁天公園(弁天町84)へ。先着順。なくなり次第終了

【問合せ】環境対策課環境計画係(本庁舎7階) ☎(5273) 3763へ。

困ります! 自転車置き去り知らんぷり

●10月22日～31日に駅前放置自転車クリーンキャンペーンを実施

区では、放置自転車をなくすために、地域の皆さんや警察署等と協力し、高田馬場・大久保・新大久保・四ツ谷・飯田橋駅前PR活動・撤去活動を行います。

【問合せ】交通対策課自転車対策係(本庁舎7階) ☎(5273) 3896へ。

手軽で便利、そして環境にもやさしい自転車は、わたしたちにとって最も身近な交通手段です。

区では放置自転車を随時撤去していますが、撤去するだけでは問題は解決しません。新宿を安全で住みよいまちにするため、ルールとマナーを守って、お互いに迷惑を掛けないように使しましょう。

★路上放置はなぜ悪い?

- ①放置自転車で道が狭くなり、高齢者や障害者の方には大変危険です。
- ②自動車の通行の妨げ・渋滞の原因となるだけでなく、バス・タクシーの乗降にも影響し大変迷惑です。
- ③災害時に避難・救出活動を妨げます。自転車の放置は、人命を奪いかねない悪質な行為です。
- ④街の景観を損ねます。

★自転車駐輪場等のご利用を

自転車等で駅まで行く場合、路上に放置せず、各駅周辺の自転車駐輪場等を利用しましょう。

【日時】11月9日(日)午前10時～12時

【対象】区内在住・在勤の方、25名(前回参加した方を除く)

【内容】区内鮮魚店主による魚の手開き、2枚・3枚のおろし方ほか(初心者向け)

【会場・申込み】往復はがきに記載例(3面参照)のとおり記入し、10月31日(必着)までに新宿リサイクル活動センター(〒169-0075高田馬場4-10-17) ☎(5330) 5374(月曜日休館)へ。応募者多数の場合は抽選。

【日時】11月18日(火)午後1時30分～3時30分

【対象】区内在住・在勤の方、30名

【内容】古布や残り布を利用して、来年の干支のぬいぐるみ(丑の親子)を作成

【費用】200円(材料費含む)

【持ち物】木綿や化繊などの古布20cm×40cm程度・物差し・はさみ・筆記用具・裁縫道具

【共催】新宿環境リサイクル活動の会

【会場・申込み】往復はがきに記載例(3面参照)のとおり記入し、10月31日(必着)までに新宿リサイクル活動センター(〒169-0075高田馬場4-10-17) ☎(5330) 5374(月曜日休館)へ。応募者多数の場合は抽選。

【日時】11月18日(火)午後1時30分～3時30分

【対象】区内在住・在勤の方、30名

【内容】古布や残り布を利用して、来年の干支のぬいぐるみ(丑の親子)を作成

【費用】200円(材料費含む)

【持ち物】木綿や化繊などの古布20cm×40cm程度・物差し・はさみ・筆記用具・裁縫道具

【共催】新宿環境リサイクル活動の会

【会場・申込み】往復はがきに記載例(3面参照)のとおり記入し、10月31日(必着)までに新宿リサイクル活動センター(〒169-0075高田馬場4-10-17) ☎(5330) 5374(月曜日休館)へ。応募者多数の場合は抽選。

【日時】11月25日(土)午前10時30分～午後1時30分

【対象】区内在住・在勤・在学の方

【持ち物】二重にした手提げビニール袋1組

【共催】エコライフ推進員ほか 込弁天公園(弁天町84)へ。先着順。なくなり次第終了

【問合せ】環境対策課環境計画係(本庁舎7階) ☎(5273) 3763へ。

【日時】11月25日(土)午前10時30分～午後1時30分

【対象】区内在住・在勤・在学の方

【持ち物】二重にした手提げビニール袋1組

【共催】エコライフ推進員ほか 込弁天公園(弁天町84)へ。先着順。なくなり次第終了

【問合せ】環境対策課環境計画係(本庁舎7階) ☎(5273) 3763へ。

【日時】11月18日(火)午後1時30分～3時30分

【対象】区内在住・在勤の方、30名

【内容】古布や残り布を利用して、来年の干支のぬいぐるみ(丑の親子)を作成

【費用】200円(材料費含む)

【持ち物】木綿や化繊などの古布20cm×40cm程度・物差し・はさみ・筆記用具・裁縫道具

【共催】新宿環境リサイクル活動の会

【会場・申込み】往復はがきに記載例(3面参照)のとおり記入し、10月31日(必着)までに新宿リサイクル活動センター(〒169-0075高田馬場4-10-17) ☎(5330) 5374(月曜日休館)へ。応募者多数の場合は抽選。

◆講座・催し等の申し込み◆

①講座・催し名
②〒・住所
③氏名(ふりがな)
④電話番号
(往復はがきには、返信信用にも住所・氏名)

はがき・ファックスの記載例

※あて先は各記事の申し込み先へ。
※費用の記載のないものは、原則無料

【日時】10月25日(土)午前10時30分～午後1時30分

【対象】区内在住・在勤・在学の方

【持ち物】二重にした手提げビニール袋1組

【共催】エコライフ推進員ほか 込弁天公園(弁天町84)へ。先着順。なくなり次第終了

【問合せ】環境対策課環境計画係(本庁舎7階) ☎(5273) 3763へ。

【日時】11月18日(火)午後1時30分～3時30分

【対象】区内在住・在勤の方、30名

【内容】古布や残り布を利用して、来年の干支のぬいぐるみ(丑の親子)を作成

【費用】200円(材料費含む)

【持ち物】木綿や化繊などの古布20cm×40cm程度・物差し・はさみ・筆記用具・裁縫道具

【共催】新宿環境リサイクル活動の会

【会場・申込み】往復はがきに記載例(3面参照)のとおり記入し、10月31日(必着)までに新宿リサイクル活動センター(〒169-0075高田馬場4-10-17) ☎(5330) 5374(月曜日休館)へ。応募者多数の場合は抽選。